

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年2月2日

計画の名称	八幡浜港海岸の安心安全の推進（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	八幡浜市		
計画の目標					

八幡浜港における海岸保全施設の長寿命化計画策定を行うことにより、安心安全な海岸施設の管理を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

長寿命化計画未策定の海岸保全施設（補助対象施設）について、計画策定を完了させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H29当初) - (H29末)

0 - 5

海岸保全施設（補助対象施設）の長寿命化計画策定施設数

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	10.0百万円	A	10.0百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	-
-------	--------------	---------	---	---------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---

交付対象事業

A 海岸事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	海岸	一般	八幡浜市	直接	八幡浜市	地方	改良	海岸堤防等老朽化対策緊急事業	長寿命化計画策定	八幡浜港・栗野浦地区（護岸5施設）						10.0	-	-	
小計（海岸事業）											10.0		-						

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考		
										H29	H30	H31	H32	H33				

C 効果促進事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
									H29	H30	H31	H32	H33			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年2月2日

計画の名称	八幡浜港海岸の安心安全の推進（防災・安全）		重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）	交付対象	八幡浜市	
計画の目標	八幡浜港における海岸保全施設の長寿命化計画策定を行うことにより、安心安全な海岸施設の管理を推進する。			

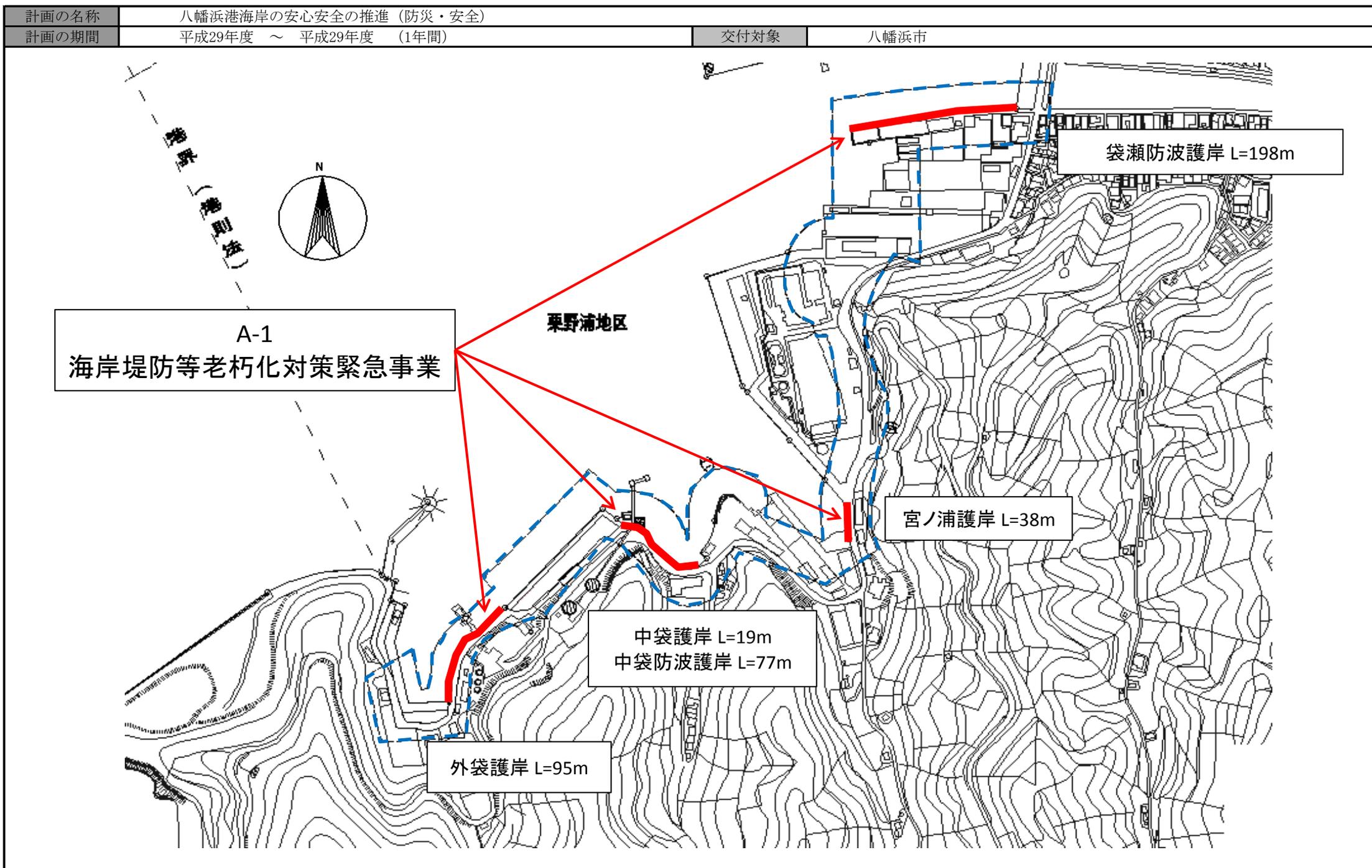
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	5				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	5				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成29年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(防災・安全交付金)

計画の名称: 八幡浜港海岸の安心安全の推進(防災・安全)

事業主体名: 八幡浜市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
2) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
2) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
3) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
4) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○